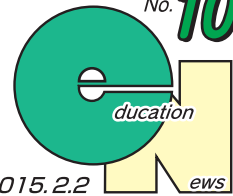


# 市教委だより

Kawagoe City Board of Education News

川越市教育委員会

No. 104



2015.2.2

次代を担う子どもたちに税金の意義や役割を正しく理解してもらうための「租税教室」が、川越市役所の市民税課職員等により、12月に市内各小学校で行われました。12月9日(火)には泉小学校で行われ、6年生3クラス88人が参加しました。

税金に関するクイズやビデオ、1億円のレプリカを使いながら、なぜ税金が必要なのか、暮らしの中で税金がどのように使われているのかを知ってもらい、税金とは「社会を支えるための会費」であるということを楽しく学習してもらいました。

特に、重さ約10kgの1億円のレプリカが登場すると、児童たちからは歓声があがり、興味津々で代わる代わる抱えていました。



1億円の重みにびっくり!



博物館 第25回「むかしの勉強・むかしの遊び」展

同展示は、博物館の収蔵資料から地域の人々の暮らしの移り変わりをたどり、昭和30~40年代の教室・居間・台所や駄菓子屋の店先を再現しています。更に今回の展示では、昭和39年(1964)に製造された三輪自動車や、昭和40年代に家族で遊んだゲームなどを展示しています。

展示期間には、市内全小学校3年生が社会科「川越市の人々のくらしのうつりかわり」の学習を行っており、体験学習室では、石臼や火のしアイロン等を、市民ボランティアの協力のもと、体験しています。

同展示は、1月17日(土)~3月1日(日)まで開催されています。ぜひご家族でお越しください。(写真は南古谷小児童の様子)

- ◆オールマイティーチャーター配置事業 Part2・もよおし…… 2
- ◆学校給食費改定のお知らせ…………… 3
- ◆新入生の一年間…………… 4~5
- ◆教育相談Q&A・フォトニュース秋・冬…………… 6
- ◆子どもが参加できる各種講座・子どもサポート発表会 … 7
- ◆知っ得!文化財…………… 8

川越市マスコットキャラクター  
ときも



校長の創意を生かした企画書を基に、学力向上・いじめの未然防止・少人数学級編制等の各学校の課題に応じて、子どもたち一人一人に応じたきめ細かな教育活動を推進するため、川越市独自に教員を採用しています。今年度は、小・中学校合わせて十三校に十三人のオールマイティティーチャーを配置しました。

### 霞ヶ関東中学校の日出間 均校長に活用状況を伺いました。

**Q 校長先生の学校経営方針は何ですか。**  
**A** 本校は、「生徒一人一人が輝き、保護者・地域の期待に応える学校づくり」を進めています。さまざまな問題を解決しながら、生徒一人一人のよさを伸ばしていきたいと考えています。

**Q 今年度、霞ヶ関東中学校が取り組むべき学校課題は何ですか。**

**A** 多くの生徒が落ち着いた学校生活を送る中で、学校に居る意義を得られず、他校とのつながりを持つ生徒や、不登校傾向の生徒も数名います。すべての生徒が明るく、元気に学校生活を送ることができるよう全職員の指導体制を整えることが課題と考えます。

**Q どのように解決していくお考えですか。**

**A** 問題行動に対して、初期対応をいかに迅速にかつ組織的に進めていくかが鍵と考えます。その体制を確立するため、「特別支援コーディネーター(※)」を設置



教育相談室の様子



個に応じた相談ができるよう、3つの部屋に分けています

し、生徒指導体制の確立を図っています。  
 ※教育的支援のための連絡・調整役

**Q それでは、オールマイティティーチャーが「特別支援コーディネーター」となるのでしょうか。**

**A** いえ、違います。

オールマイティチャーは特別支援コーディネーターとなっている教員の授業の一部を受け持ちます。そうすることで、特別支援コーディネーターが生徒・保護者・教員の相談を受けたり、定期的にスクールカウンセラーやさわやか相談員、警察・交番等の関係諸機関と連絡をとったりする時間を生み出すことができますようになります。

**Q オールマイティチャー配置により、実際にどのような効果がありましたか。**

**A** 保護者アンケートでも、95%の方が本校の教育に「ほぼ満足している」と回答しています。また積極的な生徒指導や教育相談を行うことができるようになり、不登校やいじめの解消にも成果が出てきています。

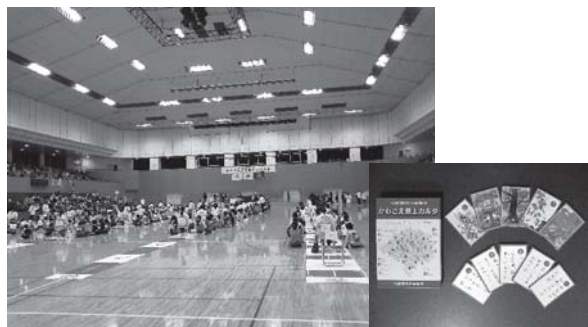
**Q 今後のオールマイティチャー配置事業に期待することは。**

**A** オールマイティチャーの配置により、生徒の様子も大変落ち着き、明るく元気に生活できるようになってきました。学校の課題を解決するための教員を川越市独自に配置できる制度は、画期的ですばらしいと思います。今後、川越市内の更に多くの学校に配置されることを願っています。

# もよおし



館内の様子



当日の様子

かわごえ郷土カルタ

## 博物館特別展「柳澤吉保とその時代」

博物館では、平成26年10月18日(土)～同年12月1日(月)までの期間、「没後300年記念特別展 柳澤吉保とその時代」展を開催しました。平成26年(2014)は、江戸時代前期に川越藩主となった柳澤吉保(1658～1714)の没後300年という節目の年にあたりました。これを記念してこの特別展は、美術館、公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会と共催し、同文庫が所蔵する吉保ゆかりの初公開資料を中心に展示をしました。また、現存する吉保を描いた肖像画四幅が初めて一堂に会する機会ともなりました。そのため、例年の企画展より大変多くの方に来館していただきました。

## 川越市子ども会かるた大会開催

11月9日(日)に、川越運動公園総合体育館で「かわごえ郷土カルタ」を使った第12回川越市子ども会かるた大会が開催されました。この大会は、かるた競技を通して①遊びの楽しさ②頑張る心と体③心のふれあい④礼儀とルール⑤郷土を知る、の“5つのめあて”の達成を図ることをねらいにしています。

当日は、川越市子ども会育成団体連絡協議会に加盟している27小学校区の子ども会から334人の選手が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。また、試合の審判や運営スタッフとして、子ども会のジュニアリーダーの皆さんが活躍していました。